

RYUKOKU UNIVERSITY

私が真宗学を学ぶ理由

龍谷大学は、1639年（寛永16年）に落成した浄土真宗の僧侶養成機関「学寮（学林）」を前身とし、建学の精神として「浄土真宗の精神」を掲げています。そのため、文学部真宗学科では親鸞聖人の教えを中心とした多角的な研究が行われています。本講演では本学の根幹ともいえる「真宗学」を、龍谷大学に入学して学び、教員になった現在までに、講演者自身がどのような思いで学んできたのか、また現在の真宗学についてどう思っているのか、についてお話ししたいと思います。

講師：井上見淳 社会学部教授



略歴

龍谷大学社会学部教授。博士（文学）。本願寺派司教。主な著書に『讃阿弥陀仏偈和讃講義　―恭敬をいたし歌嘆す―』（単著、永田文昌堂）、『「たすけたまへ」の浄土教―三業帰命説の源泉と展開―』・『真宗悪人伝』（単著、共に法藏館）、『いつでも歎異抄』（編著）・『日々の暮らしと、歎異抄』（単著）・『心に響くことば』（単著）・『（勧学寮篇）親鸞聖人の教え』（共著、いずれも本願寺出版社）ほか多数。

日付・場所

日時
2026年11月18日(水)
15:15―16:15

場所
龍谷大学 大宮学舎本館講堂
（申し込み不要、同時配信あり）

■詳細
https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-19530.html

■お問い合わせ
龍谷大学宗教部
TEL：075-645-7880
Mail：syukyobu@ad.ryukoku.ac.jp

主催　龍谷大学宗教部